

藤ヶ谷ゴミ焼却場めぐる事件

暴力団に3000万円？
市長の支援者に1億円？

- *2009年3月、水永被告の指導で委託先の九州重環に労働組合を結成。顧問料として月100万円を水永被告に支払う覚書を交わす。
- *2010年2月、水永被告が関わり労働組合幹部が中心となり、虚偽の登記で不正に別府環境エンジニアリングを設立。報道によると、水永にリース料の名目で月230万～300万円支払う契約を交わした。3月、労働組合は解散。
- *2010年4月～、藤ヶ谷清掃センターの運転が九州重環から別府環境に移る。共産党は反対。
- *2013年2月6日水永・河村・北野ら7人逮捕。詐欺罪などで3名起訴。
- *2013年4月、裁判で1600万円が委託料から水永に渡ったことが明らかになり有罪判決。

議会を傍聴して共産党議員の役割は大きいと実感した。市長や議会の不誠実さわからない態度には腹が立った。議会はなぜ、かばうのか？おかしいぞ！



税金を横流し

なぜこんなことに？

猿渡（えんど）久子議員ら日本共産党は、3年前に藤ヶ谷清掃センターの運転を別府環境エンジニアリングに委託する時から、「委託の資格がない」と厳しく指摘し反対。

ところが、批判を押し切り浜田博管理者は強行。「2年以上の実績」が条件にあるにもかかわらず、設立間もない会社に特例で随意契約、3年間委託してきたのです。

浜田博管理者が無理に委託した責任は重大

ゴミ焼却の仕事を委託していた会社から不正な横流しを受けていた容疑で、浜田博市長の側近といわれる水永弘行被告や山口組系暴力団会長・北野晴彦被告らが逮捕・起訴。住民の税金である委託料1億2000万円をだまし取り、暴力団会長に約3000万円が流れたとみて警察は調べてきました。別府市政最悪の不祥事です。浜田博管理者は、警察や裁判所まかせにせず事件の全容を市民に説明すべきです。

げんきニュース

発行責任者 平野 文活
別府市石垣西8-2-31

2013.5.5
No.553

あなたのご意見をお寄せください。また、お困りのことなどお気軽にご相談下さい。
TEL.0977-22-6576
FAX.0977-23-6529

日本共産党 別府市議団

共産党は徹底解明求め100条調査を提案

ところが 自民・公明・社民が 否決

議会には行政をしっかりとチェックするための調査権があります。議会は真相を徹底調査し全容解明すべきだと、日本共産党は2月19日別府速見広域議会で「伝家の宝刀」といわれる百条調査委員会を設置する動議を提出しました。ところが、自民・公明・社民の議員らが反対。共産党3名を含む5人しか賛成がなく否決されました。行政を批判し監視する議会の責任を放棄するものです。行政も議会も一緒になって真相解明にフタをしようという態度は許されません。ウミを出し切り二度と不正を許さないため世論をひろげましょう。

2013年3月議会の報告

日本共産党議員団の長年の提案が実現しました。

住宅リフォームなどに補助金が出ます！



日本共産党議員団が「景気対策の特効薬」として実現を求めてきた住宅リフォーム助成事業が、『わくわく建設券事業』として、5月から始まります。予算1億円の範囲内ですので、利用希望者は、早めに手続きをしましょう。

補助率10%、20万円が上限です

- ◇地元業者に発注することが条件です。
- ◇助成の方法は、施主が1枚5万5千円の「建設券」を5万円で買い（1世帯40枚が限度）、「券」で支払い、業者が「換金」する仕組みです。40枚を200万円で購入すると、220万円分の工事を行うことができます。
- ◇申し込みは商工会議所まで。
- ◇この機会に地元業者に発注しましょう。

人権同和行政は公正に

日本共産党は一貫して公正な同和行政を求めてきました。えんど久子市議は、同和団体は支部主催の活動がないと指摘。「毎年各260万円以上の補助金を2団体に出しているが、子ども会連合会への補助金18万円、PTA連合会36万円などと比べて不公平だ。同和団体への補助金はやめるべきだ」と主張。担当部長は「今後も団体と協議する。精査すべき点は精査したい」と答弁しました。

えんど久子市議は、県の仕事が生市に移るなど、市の仕事は大幅に増えていることを明らかにし、市職員をこれ以上減らさないよう求めました。他にも、障がい者や高齢者を災害から守る取り組みなどについて質問しました。



災害・いじめ・体罰から子ども達を守るために

猿渡（えんど）久子市議は「釜石に学び自ら命を守る防災教育を強めるべきだ。いじめや体罰をなくすため、子どもの命を最優先に力を合わせる事が大事だ」と述べ、教育長の見解を求めました。寺岡悌二教育長は「学校は市民のものであり地域の財産であり、自然災害から子ども達の命を守る使命と義務がある。考え

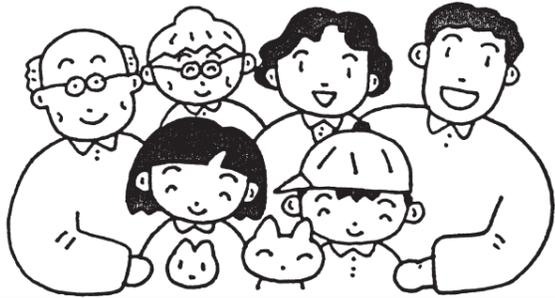
る力、判断力を身に付けさせることが肝要。教職員・教育委員会は、いじめは絶対許さない、体罰は違法だとしつかり自覚し、安心できる学校に、学校・地域・家庭と一体でまい進したい」と、考えを述べました。



日本共産党別府市議団HPやえんど久子HPをご覧ください。別府市議会HPでは議会の映像や議事録が見られます。



水永弘行 (浜田市長の古くからの支援者) が絡んだ疑惑の全容解明を!!



一貫して水永容疑者をかばい続けた浜田市長

ゆめタウンとの関わりでは、平成23年3月議会での平野市議の質問に、浜田市長は「本人に問い合わせたが、そういうことは一切ありませんということでした」と、答弁していました。

さらに土地買収サギの問題では、逮捕の翌日でも「事件の詳細は知らない。彼がそんなことをするとは信じられない」とコメントしていました。議会での平野市議の「知らないはずがない」との追及に対して、ようやく「報告は受けていた」と修正する始末でした。

ゴミ焼却場問題で、暴力団とともに逮捕されるに至って、初めて「責任は感じている」と認めました。

この一連の経過は、水永容疑者が、浜田市長の就任と同時に「市長の側近」を標榜して、利権あさりに暗躍してきたことを示しています。

3 暴力団とともに利権あさり

さらに翌年の平成21年から22年にかけて、水永容疑者は暴力団組長・北野晴彦

とともに藤ヶ谷清掃センターに乗り込み、ゴミ焼却の利権を手に入れました。(詳細は1面)

2 土地買収に絡んだサギ容疑で逮捕

翌年の平成20年には、水永容疑者は市の土地買収に絡むサギ行為に手を出していました。水永容疑者らは土地買収のトランプを口実に松山市の方から七〇〇万円の借金をして返済せず、松山の方が警察に相談した結果、今年1月にサギ容疑で逮捕されました。ここでも「浜田後援会の幹部」として相手を信用させていたのです。

土地所有者もだました「二重のサギ」

スパランド市道沿いの土地所有者は市に「寄付」を申し出ていましたが、市は「要らない」と断っていました。ところが水永容疑者らが「代理人」として交渉したら、一転して「511万円で買収」となったのです。しかも代金は口座振り込みが通常ですが、市は異例の「現金払い」に応じています。さらに水永らは、この代金も土地所有者に渡していませんでした。

1 ゆめタウンへの「紹介料」三〇〇万円

ゆめタウンのオープン直前の平成19年8月、「浜田後援会の幹部」を標榜し、警備会社などと交渉して、「紹介料三〇〇万円」などの「覚書」を交わしていました。この「覚書」は第1案から最終案まで4枚あり、第1案には「年間総売り上げの5%を毎年支払う」と記されています。ゆめタウン誘致を推進した浜田市長の後ろ盾なしにこんな利権を要求できるでしょうか。

覚書

(有) 蓮月 代表取締役水永弘行を(甲)とし、(株) [] 代表取締役 [] を(乙)として、覚書を手交し 念の為、各自保持するものである。
平成19年9月 日付の(株)イズミ別府店の警備契約を [] と(乙)が締結するにあたり(乙)は紹介料として(甲)に 一〇〇万円を支払うこととする。

浜田市長が「古くからの支援者」と認める水永弘行氏が、逮捕・起訴されています。水永容疑者は、浜田市政の発足以来、一貫して別府市政にくいこみ、利権をあさってきた。浜田市長は関わりを否定していますが、その政治責任は重大です。警察の捜査や裁判所まかせではなく、みずから市民に疑惑の全容を説明すべきです。

浜田市長の政治責任は重大!! 警察まかせではなく、自ら市民に説明すべき!!